

地域教育情報誌

チュウホク ドット コム  
**中北.com**

中北教育事務所  
教育支援スタッフ

TEL 0551-23-3046



中北の地域社会（COMmunity）の心の交流（COMmunication）をめざします

## 中北教育事務所長より

### 新年度を迎えて

中北教育事務所  
所長 笹本 信仁



若葉が陽の光を受けて輝き、清々しい季節となりました。皆様方におかれましては、日頃より中北教育事務所の各種業務にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

令和7年度末の人事異動により、中北教育事務所では5名が転出し、8名が転入いたしました。新たなメンバーを迎え、教育支援スタッフ（地域教育・学校教育）、総務担当、非常勤職員であるスクールソーシャルワーカー、アドバンスティチャーを含め、総勢28名体制で業務を進めてまいります。今年度からスクールソーシャルワーカーは3名増員となりました。中北地区における教育行政の拠点として、また、山梨県教育委員会の出先機関として、管内各市町教育委員会や各小・中学校、並びに関係諸機関との連携を図りつつ、職員一丸となって地域に開かれた教育行政の推進に努めてまいりたいと存じます。

さて、先月、アメリカの宇宙船「オリオン」に乗った宇宙飛行士4人が、10日間にわたって月まで飛行し、月の裏側を回って地球へ戻ってきました。そのニュースは、記憶に新しいところです。1970年に月を周回したことを映画化した「アポロ13号」を見たことを思い出しました。科学の進歩はどこまで続くのか、興味はつきません。

一方、教育においても、社会の変化や科学技術の進展に伴い、教育内容や指導方法は着実に進歩してきました。一人一台端末の活用や多様な学びの形が広がる中で、子どもたちに求められる力や学習の在り方も変化しています。また、コロナ禍を契機として、学校教育のあり方についても改めて捉え直され、様々な面で新たな取組や変更が進められました。

しかしながら、どれほど時代が変わっても、教育には変わることのない「不易」の側面があります。それは、子ども一人一人を大切にし、可能性を信じ、寄り添いながら成長を支えていくことです。知識や技能の習得だけでなく、よりよく生きる力を育てることは、いつの時代においても変わることのない教育の役割であると考えます。皆様方と手を携えながら、笑顔あふれる学校・地域社会の実現を目指し、全力で職務を遂行してまいります。引き続き、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 世代も地域もまるごと一緒に

### ～猪狩夫妻がつくるみんなの居場所 蓬沢いきいきサロン～



後列左端が猪狩裕太さん、後列右端が猪狩理沙さん

蓬沢いきいきサロンは、子どもから高齢者まで多世代が集う交流の場です。

地域を問わず利用できる“世代も地域も越えたみんなの居場所”として、2022年にスタートしました。

10年以上福祉の現場で経験を重ねてきた猪狩ご夫妻が、「誰もがいきいきと過ごせる社会であってほしい」という願いを込めて運営しています。健康づくりの取り組みとしても評価され、厚生労働省スマート・ライフ・プロジェクト『健康寿命を延ばそう！アワード』最優秀賞などを受賞しています。

### ごちゃまぜで楽しく

普段は主に高齢者が集まり、ボードゲームや軽スポーツなど多彩なプログラムを楽しんでいます。長期休みには子どもたちも加わり、高校生・大学生ボランティアと一緒にワークショップを開催。高齢者が料理を教え、子どもたちがゲームを教えることも。



世代も地域も“ごちゃまぜ”で関わり合える—それがこのサロンの大きな魅力です。

### 元気が生まれる

週4日欠かさず参加する方や、他地域や遠方から参加する方もおり、ご夫妻は「こうした場が必要とされている」と実感しているそうです。

イベントでは日頃の参加者も運営スタッフとして活躍します。高齢者の中には、サロンで笑顔と自信を取り戻し、新たに仕事を始めた方もいるとのこと。



「家ではこんなに笑わないな」と話す利用者のみなさんも、サロンでは大きな笑い声を響かせています。

「高齢者には、できることがたくさんあることを実感してほしい。そして、ここでの出会いが生きる希望につながってほしい。」とお二人は語ります。

互いが元気をもらえる場所。

それが、蓬沢いきいきサロンの目指す姿です。

## Pickup!



### 初めての“高座”に拍手！ ～「こども落語入門講座」発表会～

2月22日、甲斐市双葉ふれあい文化館にて「こども落語入門講座」の落語会が行われました。この講座は、日本の伝統文化である落語に親しみながら、子ども同士の交流を深めることを目的に、小学生を対象として全4回で実施されたものです。

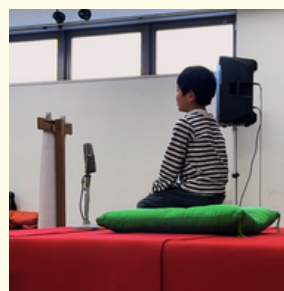
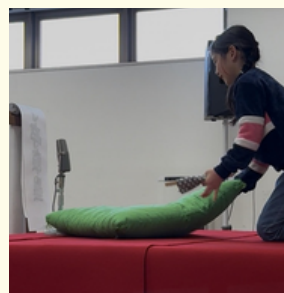
講師を務めたのは、アマチュア落語家の墨亭 河童さん。扇子や手ぬぐいの扱い方、小噺（こばなし）や落語の基本を指導してきました。最終回となるこの日は、子どもたちがこれまで練習してきた成果を高座で披露する機会となりました。

#### 堂々とした語りに温かな笑い

集合時には緊張した様子の子もいましたが、各自がこだわってつけた自分の高座名がめぐりに現れ、出囃子（でばやし）が流れると表情は一変。胸を張って高座に座り、自ら選んだ演目を堂々と披露します。登場人物を表情で演じ分け、最後の“落ち”までしっかり届ける姿に、会場からは温かな笑い拍手が広がりました。

この日は、ゲストの嗜好亭 艶馬さん、講師の墨亭 河童さんによる演目も披露されました。子どもたちは語りに引き込まれ、所作に見入りながら、落語の世界を存分に楽しみました。

会の最後には、お互いの良さと感想を伝え合った子どもたち。書亭 咲くらさんは「以前、落語を見たことがあり、それから落語が好きになった。人前でできて楽しかった。」と話し、了亭 車墨さんは「落語は“落ち”があるところが面白い。声も変えて演じる先生は本当にすごい。」と話してくれました。エビフライ亭 食さんは、落語の魅力について「声や話し方で人物を演じ分けるところ。」と笑顔で語ってくれました。



#### 落語が好き！

落語に挑戦するのは初めてという子どもたちでしたが、初回から「やってみたい演目がある」「長い噺（はなし）にも挑戦したい」と意欲的だったと言います。講師の墨亭 河童さんは、「子どもたちは本当に熱心に取り組み、その



可能性に驚かされた。ゲームやネットが身近な時代に、落語に興味を持ってくれることがうれしい。」と語りました。

落語に魅了され、仲間とともに挑戦する楽しさを味わった子どもたち。今回の経験は、きっと新たな自信や興味へとつながっていくことでしょう。

※名前は全て高座名です。



## 令和8年度 中北教育事務所 地域教育連携事業について

### 1 第1回中北地区地域教育推進連絡協議会研修会

- ① 日時：令和8年6月25日（木）14：10～16：30
- ② 場所：甲斐市敷島総合文化会館大ホール
- ③ 活動実践発表：北杜市立甲陵高等学校2年 相山心音さん
- ④ 研修会：演題 『性教育は「生」教育』（仮）  
講師 竜王レディースクリニック 院長 森澤 宏行 氏

### 2 中北地区地域教育フォーラム

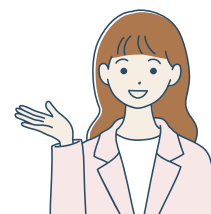
- ① 日時：令和8年10月15日（木）13：30～16：30
- ② 場所：甲斐市敷島総合文化会館大ホール
- ③ 文化発表：山梨県立甲府城西高等学校 吹奏楽部
- ④ 講演会：演題 「挑戦～From a trail to a pathway to greatness～」(仮)  
講師 韮崎市教育委員会教育委員  
プロトレイルランナー 山本 健一 氏

### 3 第2回中北地区地域教育推進連絡協議会研修会

- ① 日時：令和9年1月21日（木）14：10～16：30
- ② 場所：韮崎市民交流センターニコリ多目的ホール
- ③ 活動実践発表：山梨県立巨摩高等学校 自然科学部
- ④ 研修会：演題  
「持続可能な社会の創り手を育てるために大切なこと  
アナログなコミュニケーションにこだわるわけ～」(仮)  
講師 公益社団法人日本環境教育フォーラム主席研究員  
川嶋直事務所代表 川嶋 直 氏

### ◆中北地区 子育て相談窓口・ 教育相談窓口 案内

相談窓口案内を保育所・幼稚園・認定こども園、各学校、市町の子育て担当等各所にメール配信しています。当教育事務所のHPでもご覧いただけます。  
ご利用ください。



### ◆中北地区 異校種間授業参観 『公開できる授業等一覧』

保育所・幼稚園・認定こども園、各学校に6月メール配信予定です。



## 紙面を飾ってみませんか

地域教育情報紙『中北.com』は、年6回、奇数月に発行し、中北地区500か所以上に配付しています。学校や地域、諸団体での様々な取り組みをぜひ取材させてください。問い合わせは右記まで、お気軽にお声がけください。

令和8年度 『中北.com』 No. 1  
編集・発行 中北教育事務所  
担当 花形 健一 ・ 江川 みづほ  
〒407-0024 韮崎市本町4-2-4  
電話 0551-23-3046